

## 【総評】

### ◆評価機関総合コメント

・社会福祉法人向日葵福祉会「茨田東保育所」は平成28年7月1日に大阪市より民間移管され、従前市営住宅に併設されていた園舎を100m北に移転した。大規模な市営住宅群の北側に位置し、約200m南に広い茨田大宮中央公園がある。

・民間移管してから1年間という短期間の中で、保護者の信頼が得られるよう懇談会等を重ね、苦情・要望等の解決に向けて積極的に取り組んでいる。

・乳児クラスは担当制を導入して配慮の行き届いた保育を目指し、幼児クラスは縦割り保育の中で異年齢交流を深め、アットホームな関係づくりに努めている。

・所庭が狭い中で安田式遊具を活用し、砂場を設置するなど有効に活用できるように工夫をしている。

・屋上に人工芝を敷き詰めた遊び場があり、水遊びやプール遊びができるようになっている。

(注) 判断基準「abc」について【平成27年度以前の基準とは異なるため、前回受審時の評価結果と当評価結果との比較はできませんのでご留意ください】

(a) は質の向上を目指す際の目安となる状態。

(b) は多くの施設・事業所の状態。

(c) は (b) 以上の取り組みとなることを期待する状態。

に改訂されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では (b) が一般的な取組水準となり、従前に比べて (b) の対象範囲が広がります。また、改訂前に (a) であった評価項目が改訂後の再受審で (a) を得られなくなる可能性もあります。

### ◆特に評価の高い点

・インクルーシブ保育を実践し、障がい児の受け入れに積極的に取り組んでいる。

・一人ひとりの個性を大切に、乳児期は担当制保育を行い、幼児期は縦割り保育を実施して、アットホームな雰囲気の中で、子ども達の特性を活かした保育を目指している。

・年長児は、和太鼓・茶道に取り組み、日本文化を大切にしている。

・定期的に地域のクリーン活動を行い、地域との交流を深めている。

・防災訓練等で地域と連携して取り組み、安全対策に力を入れている。

・すべての行事の後に保護者アンケートを実施し、保護者の意向を反映した行事内容を検討し改善している。

・3つの委員会と4つの研修グループを設置し、PDCAサイクル[Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善)]を意識して職員の全員参加で保育の向上にむけて取り組んでいる。

・本人希望と茨田東保育所の要請に基づいて、各種研修に職員全員が参加し、スキルアップに努めている。

### ◆改善を求められる点

・インクルーシブ保育という新しい保育の取り組みを実践していく中で、保護者や子ども達にも意義をしっかりと伝えて理解と信頼関係を深めていくことを期待する。

・整理整頓を徹底し、子ども達にとって快適な環境整備に心がけることを望む。

・現在、相談室を職員休憩室と兼用しているが、健康管理上重要な職員専用の休憩室を確保することを望む。

#### ◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

- ・第三者評価を受審することにより全職員の意識が高まり、理念、基本方針の内容に伴って保育の見直しが行われる事となった。
- ・就職フェアや情報フェアの機会には人材確保に向けて、保育所のPRになるよう園行事や日常保育の様子がよく分かるような、参考資料等を作成するなど前向きに取り組めるようになりました。
- ・災害時の備蓄を増やしたり感染症情報もクラス毎に掲示するなど改善し、保護者の目線で安全安心な配慮と見直しができる。
- ・地域の子育て事業に目を向けたり連携交流など、さらに視野が広がった。

#### ◆第三者評価結果

- ・別紙「第三者評価結果」を参照